



私のバワナ

バワナ
BHAWNA

私の名前はバワナです。バワナはヒンディー語でフィーリングという意味です。自分の気持ちを大切に生きてもらいたいという思いで、両親は私にこの名前を付けました。

私は母が暮らしていたインドのビハール州の小さな村に生まれました。私が生まれた後、母は私を連れて父が働いていた町へ引っ越しました。なぜなら、村には女の子を学校に行かせないという強い差別があったからです。村の人は「女の子は将来結婚して家事をするだけだから、勉強させる必要はない」と言います。しかし、母は私に教育を受けさせたいと強く思っていたので、町で暮らすことを選びました。

母の期待通り、私は勉強をよくしました。きょうだいの中で一番成績もよかったです。私は動物が大好きで、家で飼っていた二頭の牛を大切に世話していました。でも牛の調子が悪い時になにも助けられなかったので、将来は獣医になりたいと思うようになりました。獣医になるためには私立の大学に行く必要があります。しかし、兄や弟の学費の問題があります。もちろんインドの考えでは、女の私より兄や弟の教育の方が大切です。私はそれがわかっていたので、自分の夢を諦め、公立大学の理学部に進学しました。

大学の勉強は楽しかったです。でも、自分のしたいことができないのをいつもがまんして気持ちを抑えて生きている自分が私は嫌いでした。

た。私の名前の意味が皮肉にさえ思っていました。そう思っていた大学の最後の年に、大学の先生から日本で働くチャンスがあることを聞きました。そして、日本は安全な国で女性にも多くの自由があるということを知りました。私はそれを聞いて、これは自分と家族の未来を変えるチャンスだと思いました。日本で働けば家族を経済的に支えることができ、そして何よりも自分が変わることができると思ったからです。私は一生懸命日本語を勉強して、数か月後に日本へ来ることができました。

日本での生活はインドの生活と180度違うものでした。自分で自分のことを決めて自由に動けます。今私は日本で介護スタッフとして働き、お年寄りの毎日の生活をサポートしていますが、私が何かを手伝うたびに「ありがとう」と笑顔で言ってくれます。獣医にはなれませんが、今私はこうやって誰かを助けることができています。私はそうできることが嬉しいですし、自分がしたいことができている今の自分が大好きです。母は言いました。日本語を覚えて自分のしたいことを海外でしているバワナはすごい。あなたに付けた名前の通りだと。

私はバワナです。私は自分の気持ちを大切に、誰かに押さえつけられる弱い女性ではなく、自分の人生を自分で決められる強い女性でいたいと思っています。今私はとても幸せです。父と母に感謝をしています。

受賞の喜び



パワナ

国 籍 インド
職 種 介護
実 習 実 施 者 社会福祉法人春栄会
監 理 団 体 81協同組合

この度私の作文を優秀賞に選んで頂き、本当にありがとうございました。これまでの自分の経験や気持ちを書いた作文を評価して頂いたことをとても嬉しく思っています。

日本に来てから大変なこともありましたが、今こうやって日本で生活をし、たくさんの方が経験できていることをとても幸せに思っています。ですから先生に作文を書いてみるように言われたとき、私が今どうしてここにいるのかを書いてみたいと思いました。

先生のアドバイスとご指導のおかげで、自分の気持ちを作文にすることができました。そしてこの経験は私にとってとても大切なものになりました。支えてくださった先生、そしてこの機会をくださったJITCOの皆様に心より感謝を申し上げます。そして生活を支援してくださっている組合と毎日多くのことを教えてくださっている職場の皆様に感謝致します。これからも日本語の勉強と仕事を頑張り、もっと成長できるように努力していきたいと思います。

指導員のことば

外国人技能実習生日本語作文コンクール「優秀賞」、本当におめでとうございます。令和6年8月にインドから技能実習生として当施設に入職されたパワナさん。日本に来て2年で作文コンクールに応募して優秀賞、それも日本語で、本当に素晴らしいですね。入職されたパワナさんと初対面の時の感想は、日本語の言葉をしっかり理解されていたことです。感銘したことを覚えています。また、パワナさんの仕事に対する姿勢や声かけによって、利用者さんも安心された表情になっていくように感じます。日本に来て2年、生活環境の違いもある中での「優秀賞」本当におめでとう。これからもパワナさんらしく頑張ってご自分の理想とする人生を歩んでください。

社会福祉法人春栄会 下農 喜代美